

コスモス

～出来る時、できることを～

会長 廣石 福子

「コロナ禍で開催が危ぶまれていた2020東京オリンピック・パラリンピックは、多くの困難を抱えて開催されました。選手の皆さんは、もちろんですが、私達にも大きな感動と喜びを与えてくれたのは、記憶に新しいところですよ。」

さて婦人会では、昨年以上に活動ができていくくなり、気持ちも落ち込むこともありますが、外に行けない分もつと町内に目を向けて町を知ること大切だと、YKクリーンや循環センターで研修会をしました。また、県婦人会からの視察研修を受け入れ、外からの声を聞くことで町の良さに気づかされました。町のいいところを活用してもつと魅力ある場になるには、どうしたらいいかという事もみんな考えていけたらと思っています。

今年もマイバッグ運動や花いっぱい運動など出来る時にできることをしっかりとやっていきたいと思っています。皆様のご協力よろしくお祈ります。

廃傘からエコバッグ

環境プラザに集められた廃傘の布を金具から取り外し、アイロンをかけて、ほとんどの傘がエコバッグとして輝きをとり戻します。環境汚染をもたらすプラスチックゴミ削減に協力している皆さんに使って貰える喜びを感じながら傘布と対話しています。

以前からの「マイバッグ運動」を一歩進めて、平成十一年の総会で「傘布でのエコバッグ作り」の講習をしました。それから、二十数年作り続けています。今では、アクアスでの販売も好評で、婦人会の見える活動の一つとなっています。



YKクリーン、循環センターを視察

YKクリーンはプラスチックをリサイクルする事業所です。町内だけでなく、みやま市、柳川市等のプラスチックも受け入れています。手作業で分別してリサイクルできない物は、市町に返されるとのことです。大木町のコンテナにもだいぶ溜まっていて、最初の頃より、分別が少し悪くなっているそうでした。循環センターでは、研修を受けてまちづくりボランティアになられた荒木さんから職員に代わって説明していただきました。荒木さんは、自ら実践されていることもあってわかりやすく、改めて、両施設とも大木町の循環型社会に大きく貢献していることがよくわかりました。



会員募集

婦人会会員は、現在80人、関心のあることにご参加できます。お友達と一緒に、活動に参加しませんか。お申し込み先：図書・情報センター ☎ 32-1047

主な事業報告

私たちは、経験を活かし自分らしく生きること、社会に貢献できる活動に取り組んでいます。



図書館・役場前通路のプランター花植え
5月8日に会員と図書館職員で行ないました。また、今年役場駐車場入り口の花壇の手入れと花植えを、5月29日に役場の職員と共に行ないました。
男性職員も10数人参加され、とても有意義な時間を過ごせました。
皆さん、お疲れさまでした。これからも婦人会は花いっぱい運動を推進していきます。



自主防災組織リーダー研修会に参加
婦人防火クラブの一員として、10月21日久留米総合庁舎で基本編を受講しました。区長会からも参加されておりました。県の防災士ネットワークの方から発災時の地域の避難所運営のあり方について机上演習を交えながらお話をうかがいました。ケンカ、窃盗など、2次被害をおこさないためにも、平時からの準備と、公助と協力し合う、共助、そして一人ひとりの自覚を培う場が必要であることがよくわかりました。
婦人会でも、今後の研修に取り入れていきたいと思っております。



福岡県地域婦人会の移動役員会
10月7日大木町WAKKAで行なわれました。その後、昼食をデリ&ビュッフェでし午後からは、循環センターくるるんを視察して、最後に道の駅できのこのもぎ取り等々を体験していただきました。「大木町に住んで幸せですね」と皆さん、大満足で帰路に着かれました。



婦人会も
女性ネットワークおおぞらの
会員として活動しています

女性ネットワークおおぞら映画上映会のご案内

いただきます2
ここは、発酵の楽園

日時

- ①11月26日(金)
19時~20時30分
- ②11月27日(土)
10時~11時30分

場所 こっぽーつとホール
料金 無料

味噌玉販売いたします！



女性ネットワーク
自治会移行についての研修会
10月28日大莞コミセンで校区担当職員3名を招き町が進める自治会移行について理解を深めました。住みやすい地域にしていくためにも私たち女性も一緒に出来ることを考え意見を出し合いました。男性、女性ではなく、みんなで助け合う地域になり、住みやすい町づくりが進むよう協力していくことの大切さがよくわかりました。